



外国人技能実習制度の“今”を伝える

iBridge

アイブリッジ通信



水かけ祭り（ティンジャン祭り）

アイブリッジ協同組合では、結核対策を重要課題と考えて実習生が母国で行う胸部X線検査に加え、「公益財団法人結核予防会」にご協力いただきX線画像の再読影を行っています。

採用時

健康診断
(胸部X線)



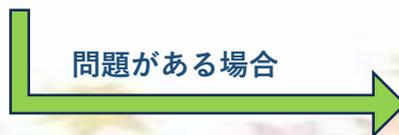
結核予防会
(二重読影)



入国前

健康診断
(日本法人)

問題がある場合



QFT検査

送り出し機関はとても重要な機関です!!

送り出し機関とは

海外現地から日本で働きたい技能実習生や特定技能外国人を募集し、受け入れ施設の希望にあった人材を日本に送り出す機関のことです。
人材の紹介や手続き、サポートなど重要な役割を担っています。

送り出し機関の役割

①実習生候補者の募集・選考

技能実習法に定められた要件を満たしているかを厳格にチェックし、条件に合う候補者を選出します。

②入国前研修

日本語や日本の文化・マナー、必要な実技などを約6ヶ月かけて研修します。

③出国の手続き

健康診断を実施し、結果を監理団体に報告。
日本に入国する為の申請手続き等を行います。

④日本滞在中の支援・問題への対応

日本に滞在している間のサポートを行い、実習生が順調に実習を進めているか確認を行います。

⑤帰国の手続きサポート

技能実習が修了した際に、帰国に必要な手続きや厚生年金の返金手続きなどのサポートを行います。

監理団体とは

外国人技能実習制度において、外国人技能実習生の受け入れを支援する非営利団体のことです。
外国での技能実習生の募集や受け入れ、指導、監査などを実施します。



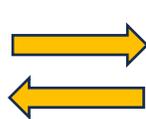
技能実習生
特定技能外国人



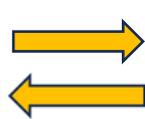
近年送り出し機関が増えている中、
適切で優秀な人材を採用する為には
実績としっかりした研修制度がある、
信頼のおける送り出し機関
を選ぶことが重要です。



送り出し機関



監理団体



受入施設

監理団体である**アイブリッジ協同組合**は、ミャンマーの送り出し機関である**カケハシミャンマー**と提携しています。



良い送り出し機関の
選定ポイント

01

政府認定の送り出し機関

適正に業務を遂行していることが審査で認められているので、信頼性が高い

02

実績

多数の候補者を確保し、条件に合った人材を集めることができる

03

入国前の研修

日本語や日本の文化、生活ルール、必要な教育がしっかりしている



アイブリッジが提携している送り出し機関 カケハシミャンマーをご紹介します。



カケハシミャンマー CEO
タンシンナイン氏

タンシンナイン氏 略歴

1997年ヤンゴン工業大学在学中に日本の文部科学省による国費留学生として来日。
帰国後日本に対する感謝と恩返しの強い気持ちから、人材育成による貢献を目的として送り出し機関及び日本語学校の現地運営事業に着手。

アイブリッジ協同組合と出会い、医療・看護職に重点を置いて
優秀な人材の輩出に注力

京進ランゲージアカデミー ヤンゴン



日本語・マナーの教育

- 01 日本語教師養成講座を修了した教師
- 02 5ヶ月で0からN4
- 03 6ヶ月～12ヶ月間の教育でN3
- 04 実習、日本の文化・マナー教育
- 05 規則や礼儀の訓練
- 06 帰国後の目標を明確化

タンシンナインCEOは京進ランゲージアカデミーの代表取締役社長もされています。



数ある送り出し機関の中でも、カケハシミャンマーは優秀な介護人材を育てることを通して、両国の介護環境向上に貢献する拠点にしたいという考えを持っています。

アイブリッジ協同組合は、
受入れ施設のご希望にあった人材をご紹介しますよう、
信頼のおける送り出し機関を選定して提携しています。



リハビリデイサービス すみれ 様

(1期生) HNIN WUT YI SOE
(ニン ワイツ イー ソー) さん

○日本で違うと思ったこと：
自転車に乗る時、ミャンマーでは右から乗りますが、日本では皆が左から乗るので驚きました。

○後輩にひとこと：日本語を話せるように頑張ってきてください。

(2期生) EI EI KHAING (イイ カイン) さん

○日本で違うと思ったこと：
思っていたより寒いので驚きました。
○後輩にひとこと：
国の情勢と若者たちを心配しています。

グループホーム すみれ湖 様

(2期生) MYAT PHOO SAN (ミャッ プー サン) さん

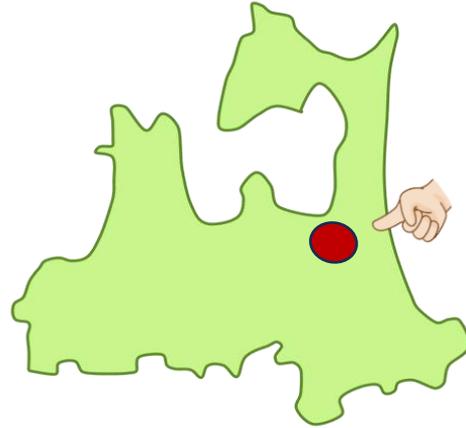
○日本で違うと思ったこと：
雪が沢山降るので驚きました。

○後輩にひとこと：
諦めずに努力すれば心に決めたことは何でも達成できます

(2期生) THAE HSU AUNG (テー スー アウン) さん



○日本で違うと思ったこと：
何を買っても税金がかかること。車、自転車、バイクが左側を走っていることに驚きました。
○後輩にひとこと：
日本に来る前に会話と漢字を勉強することが大事です。



(2期生) ZAR CHI MHWE (ザー チー ムェ) さん



○日本で違うと思ったこと：
とても寒くて驚きました。でも、みんな挨拶をしてくれてとても暖かいです。

○後輩にひとこと：
日本はとても美しく楽しい国だと伝えたいです。

施設職員の方からのコメント

外国人と一緒に仕事をする事自体が初めてでしたが、事前の情報通りまじめで素直で勤勉です。仕事の上達や日本語の覚えも早く、利用者様とも円滑にコミュニケーションを取りながら実習に取り組んでいます。方言には苦戦していますが、スタッフが通訳するとすぐに理解できています。ミャンマーの方々は、真面目で勤勉、優しく思いやりがあり、コミュニケーション能力も高く、すぐに皆さんと打ち解けられると思います。

アイブリッジ協同組合 LINE公式アカウント



- ☑ 技能実習生の入国状況
- ☑ 新しい取り組み
- ☑ ミャンマーの国内状況
- ☑ 補助金・助成金制度
- ☑ 実習生の有効活用 などなど



LINE公式アカウント

@924wkeqs



アイブリッジ協同組合

所在地：〒104-0044
東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー40F
TEL：03-6228-4196 FAX:03-6228-4896
URL：<https://www.ibridge.or.jp> mail: info@ibridge.or.jp

